

松山市内の幼稚園 グラウンドの芝生化・管理の一例



No.

1. 床土の準備

(6月26日)

雑草を根から取り除き
保水性・排水性が良くなる
ように土壌改良材をまぜ
くぼみがないように整地して
ならします。



No.

2. 芝生準備

(6月26日)

芝生1束が約1㎡分です
ので必要な数量を配り
芝張りの準備をします。



No.

3. 芝張り(めじ張り)

(6月26日)

今回は目地を約4cmで
芝生を並べていきます。
事前に糸を張っておくと
芝生が曲がることなく
きれいに張れます。



No.

4. 目土入れ

(6月26日)

芝生の根が乾かないよう
また並べた芝生が
ずれないようにすき間に
目土を入れていきます。



No.

5. かん水

(6月26日)

目土まで入れ終わったら
全体にまんべんなく
水をかけます。
少しの水を長時間
かけるのが効果的です。



No.

6. 目土の補充

(6月26日)

かん水をして水の溜まる
場所には土を補充して
水たまりができないように
ならします。



No.

7. 転圧

(6月26日)

整地した場所を転圧して
床土と芝生をしっかりと
密着させます。



No.

8. 完了

(6月26日)

芝生が芽吹くまで
かん水をします。
夏場は涼しい
早朝か夕方に行います。



No.

9・経過観察

(7月21日)

芝張り完了から
3週間以上たちました。
そろそろ1回目の芝刈り
作業を行います。



No.

10. 芝刈り

(8月2日)

広い面積では
乗用の芝刈り機で
刈ると素早く
きれいに仕上がります。



No.

(8月2日)

伸びた芝生の葉先を
低く刈り込むことで芝生の
芽が横に伸びやすくなり
すき間の部分から
早く目が出るように
なります。



No.

11. 経過観察

(8月15日)

芝刈りから2週間
だいぶ目地からも
芝生の芽が出て
すき間が埋まりました。



No.

12. エアレーション

(3月26日)

芝生は休眠中ですが
踏み固められた芝生に
穴をあけて土をほぐし
根が呼吸できるよう
通気性を良くします。



No.

13. 目土入れ

(3月26日)

エアレーションをして
空けた穴に砂を入れて
根が張りやすくして
やります。



No.

14. 目土敷ならし

(3月26日)

均等に目土がかかるよう
表面をならして
きれいに整地します。



No.

15. 更新作業完了

(3月26日)

春になり暖かくなって
芝生が活動を始めると
一斉に目が吹き一面
緑色になります。